

資料2-1

モデル事業の実施状況について

令和3年度野生鳥獣に関する感染症対策としての鳥獣保護管理方針検討会にて検討したモデル事業を推進するため、以下を実施中。

1. ツシマヤマネコ保全のための感染症対策（資料2-2）

(1) ツシマヤマネコへの影響が特に懸念される感染症の実態把握

長崎県対馬市において、表1の野生獣種、感染症について検査を実施。

表1 検査する獣種と感染症の組み合わせ

| 鳥獣種等 | SFTSV | CDV | FCoV | FCV | FHV | FPLV |
|---------|-------|-----|------|-----|-----|------|
| ツシマヤマネコ | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| ツシマテン | ● | ● | | | | ● |
| シベリアイタチ | ● | ● | | | | ● |
| ツシマジカ | ● | | | | | |
| イノシシ | ● | | | | | |

※SFTSV：SFTSウイルス、CDV：イヌジステンパーウイルス、FCoV：ネコ伝染性腹膜炎（FIP）ウイルス、FCV：ネコカリシウイルス、FHV：ネコウイルス性鼻気管炎ウイルス、FPLV：パルボウイルス（ネコ汎白血球減少症）

(2) 感染症発生の可能性と発生・確認時の影響を低減する措置の検討

上記(1)で得られた知見をツシマヤマネコの保護増殖事業における感染症対策に活用。

2. 希少鳥類（ヤンバルクイナ等）保全のための感染症対策（資料2-3）

希少鳥類保全のための感染症対策において共通する課題を抽出・整理するため、ヤンバルクイナについて、以下を実施。

(1) 既存事業を通じて感染が確認されている感染症や以下についての情報収集・整理

- ・沖縄島北部の鳥類相や渡り鳥の飛来状況等
- ・海外の希少種保護施設の防疫措置の状況

(2) 生息域外保全個体の感染症対策の検討及び体制整備

- ①飼育・繁殖施設における対応内容の検討
- ②感染した個体の治療方法などの対応方針の整理・検討

3. 死亡野鳥・傷病鳥獣における感染症の実態把握（資料2-5）

大量死や異常な行動をとる個体の発生等、生態系の異常及び感染症の発生状況の実態把握をするため、以下を実施。

- (1) 都道府県等における救護個体情報の収集・整理・分析
- (2) 救護情報の一元化と共有を図るための課題の整理・検討
- (3) 傷病個体を用いた国内野生鳥獣保有病原体把握

以上